

「消防団の力向上モデル事業」事業紹介

事業名 消防団体験・イメージアップ広報事業

自治体名

長野県

消防団名

1 事業の目的

R6年度に県内消防団員に行ったアンケートでは、認知度の低さから自発的入団が少ないことが明らかになった。このため、若者や女性、事業所の従業員に活動体験の機会を提供し、広報強化によって入団意欲と消防団のイメージ向上を図る事業を実施する。

2 事業内容

1 1日消防団体験

消防学校・県内消防団と協力し、若者、女性、事業所の従業員等を対象とした消防団体験を実施した。県内全域から参加しやすいよう、長野市、飯田市、松本市の県内3会場で開催した。

参加者がより気軽に消防団活動を体験できるよう、女性でも扱いやすいホースによる放水体験やAED講習、現役消防団員との座談会などを設け、疑問や不安を気軽に相談できる時間を確保するなど、消防団活動の理解促進につながる体験内容とした。

2 消防団イメージアップ広報

若者・女性に向けた消防団活動の理解を深める広報媒体(漫画)を制作した。

学生～新社会人、子育て世代の2種類を作成し、団員へのインタビューも反映したストーリーとしたほか、消防団に関する各種制度(信州消防団員応援ショップや機能別分団など)も紹介した。冊子は県内市町村や高校・大学等の教育機関へ配布したほか、県ホームページにデジタルブックの掲載も行った。



1日消防団体験



漫画冊子

3 事業成果

1 1日消防団体験

参加者全員が「満足」と回答し、86.1%が消防団への印象が良い方向に変化した。特に「ホース延長・放水体験」(77.8%)や「現役団員との座談会」(58.7%)が印象に残った体験として挙げた。実技中心の体験により活動内容への理解が深まり、ガイダンスと組み合わせることで消防団の多様な役割への認識も高まった。また、座談会では飲み物や菓子を用意することで話しやすい雰囲気をつくり、参加者が団員の実態を知り、不安解消や親近感の醸成につながった。

2 消防団イメージアップ広報

漫画冊子については、県内77市町村へ計21,550部配布したほか、高校・大学・専門学校など計183校に配布、県公式LINEや雑誌、Web記事など計3媒体に掲載し、幅広い層への周知を行った。また、ながのこまち取扱い店舗75店舗にも設置した。さらにデジタルブック版も作成、オンライン上でも閲覧機会を確保することができ、紙媒体と併せて効果的に周知を図ることができた。

4 目標達成状況

指標	単位	当初目標	実績値	備考
体験会	回数	3回	3回	※県公式LINE、雑誌、Web記事
参加者	人数	90人	63人	
漫画揭示	媒体	3媒体	3媒体※	

5 その他参考情報

長野県HP：消防団PR漫画「知ってほしい、消防団のこと」を作成しました
URL:<https://www.pref.nagano.lg.jp/shobo/shobodan/images/comics.html>